

あそぶ

まなぶ

あそぶ

子どもからお年寄りまで利用できる、文化とふれあいの広場として昭和61年11月1日に誕生した麻生総合センター。今年で開館20周年を迎え、世代間交流や地域コミュニティ活動、生涯学習の増進という設立の原点に戻り、施設の特長を生かした企画を進めています。今月は、同センターの取り組みや応援する人たちの声などを紹介します。

開館20周年記念企画として、麻生総合センターを管理する北老人福祉センター、麻生児童会館、麻生まちづくりセンター、麻生連合町内会の4者が協働して開催している講座「おとなと子どものASABU塾」。それぞれが互いに連携しながらユニークな内容を企画して、参加者同士の交流を深めています。

おとなと子どもの  
ASABU塾



●算数の時間『右脳・左脳を鍛える』

北老人福祉センターを利用するお年寄りと麻生児童会館に通う子どもたちが、一緒にパズルや算数の問題に挑戦！お互いに打ち解け合い、楽しく学びました。



1年を前期（7～9月）、後期（10～2月）に分けて講座を開催しています。今後は、以下の講座（一部）などが予定されています。

- 音楽の時間『懐かしのSPレコードを楽しもう』
- 社会の時間『異文化体験講座：中国人留学生の起業物語』
- 保健の時間『エステ講座』
- 技術と家庭の時間『お年寄りが教える知恵と技』

※開催日時などは未定です。詳細は麻生まちづくりセンターまで

●国語の時間『日本語トレーニングと名作朗読』

正しい発音やあいさつの仕方などを、アナウンサーから学ぶ講座。きちんとした発声方法を身に付けることにより、普段の生活の中で話すことの楽しさが増し、人との出会いが広がります。

楽しく学ぼう